



大自然への道しるべ 白馬小径

こんな道しるべが白馬村のあちこちらにたっているのを皆さんはご存知でしたか？これは白馬村を自転車と徒歩でめぐる「白馬小径」の道しるべ。白馬小径とは、村内にある美しい場所をつなぐ道。きちんと整備された道ばかりではなく、ときには舗装されていない農作業道路も進みます。先々で出逢うのは、白馬三山が一望できるビューポイントや歴史文化の残る神社仏閣、道端に咲き誇る花々など白馬村ならではの。穏やかな景色を楽しみながら散歩に出かける人、あぜ道に座り風景画や写真を楽しむ人、ただ道標にまかせて進み出逢う自然に胸をおどらす人など楽しみ方はさまざま。この道標は皆さんを大自然へとご案内します。

白馬小径で出逢うさまざまな風景



八方尾根自然研究路(A-3)

標高1,680mの黒菱平から標高2,060mの八方池へ向かうコースです。中部山岳国立公園に属し八方尾根一帯には貴重な高山植物が約347種類生息しています。四方八方を見渡せることから北アルプスの展望台と称されます。



細野諏訪社(B-3)

白馬諏訪三社のひとつで御神木の杉は、白馬村指定天然記念物に指定されています。



白馬美術館(B-5)

シャガールファンをも唸らせる所蔵数の中から常時約120点を展示。色彩の魔術師と言われる彼の幻想的な作品は女性にも人気が高い。



白馬三枝美術館(C-5)

奥田郁太郎ら多くの画家たちが郷土の中から常時約120点を展示。色彩の魔術師と言われる彼の幻想的な作品は女性にも人気が高い。



白馬・山とスキーの総合資料館(C-3)

白馬村の歴史は約100年前に始まりました。国が地図を作製する為に始めた測量登山をきっかけに山岳開発が始まり、その後大きな登山ブームが訪れました。登山ブームを牽引した白馬村の山案内人が愛したのが冬山でのスキー。その歴史の中で広がってきた文化を知れば白馬村の魅力を再発見できることでしょう。

ポイント間距離／自転車・徒歩の所要時間一覧表

※各コースの自転車時間は、出発点から順番に回った場合の目安の時間です。
※歩数・歩行時間は、1歩が一般男性75cm、一般女性60cmの平均から概ねの時間・歩数を表記しています。

番地	距離(m)	自転車時間(分)	徒歩(歩数)／歩行時間(分)	コース状況
60			出発点	
18	300	3	430／4	ゆるやかなのぼり
19	300	2	430／4	ゆるやかなのぼり
20	800	4	1140／10	のぼり
21	1450	10	2070／18	のぼり
22	1500	10	2140／19	くだり
23	300	5	430／4	ゆるやかなのぼり
24	250	2	360／3	ゆるやかなのぼり
25	200	2	290／3	ゆるやかなのぼり
26	600	6	860／8	ゆるやかなのぼり
27	400	2	570／5	くだり
28	400	2	570／5	ゆるやかなくだり
29	100	1	140／1	へいたん
30	550	2	790／7	くだり
31	950	6	1360／12	へいたん
32	550	2	790／7	ゆるやかなくだり
60	2300	15	3290／29	へいたん
合計	10950	74	15660／137	

レンタサイクルの店(市外局番 0261)

店名	電話	場所	種目	備考
スパイシーエコモール店	72-2858	エコランド体育館前	タウン、MTB、タンデム、電動、Jrなど	年中無休
白馬山麓ツアーズ	72-6900	白馬駅前(白馬観光開発1F)	タウン、MTB	年中無休
おじさんの店	72-2129	白馬駅前	タウン、MTB、タンデム、電動、Jrなど	年中無休
エヴァーグリーン	72-5150	白馬桜の木ホテルビュッセルセンター内	MTB	夏季のみオープン
Hakuba47	75-3533	Hakuba47	MTB、MTB、Jr	夏季のみオープン
広進堂	72-2441	八方旅館街内	タウン、タンデム、MTB	オープン日未定
白馬五電観光協会(神城駅)	75-3131	神城駅内案内所	電動、タウン	年中無休
サービスショップ360°	72-4669	岩岳ゴンドラ前	MTB、MTB、Jr	夏季のみオープン
八方インフォメーションセンター	72-3066	八方バスターミナル	タウン、MTBなど	年中無休

山野草めぐり

四季折々に白馬小径を彩る花々をお楽しみください。

アヤメ あやめ科
見頃：5月～7月
草原に生え、高さ30～50cmに生長。直径8cmほどの花を咲かせます。内側の花びらが羽根つきの羽根のように直立するのが特徴。

ウツボグサ しそ科
見頃：6月～8月
山野の陽当たりがよい草地进行、紫の愛らしい花を穂状に咲かせます。花穂が矢を入れる「ウツボ=靱」に似ていることからの命名。

タムラソウ きく科
見頃：8月～9月
初秋の草原にひっそりとした風情で咲く野の花。アザミに似ていますが、葉にトゲがないので区別は容易。丈が1mを超えるものもあります。

カタクリ ゆり科
見頃：4月中旬～5月上旬
白馬に春を告げる代表的な花。群生地が各所にあります。紅紫の可憐な花を咲かせます。この根から採るデンプンが本来のカタクリ粉。

ホタルブクロ ききょう科
見頃：6月～7月
やや日陰気味の山野の道端などに生えています。花色は白、ピンク、紫など。花びらの端がそり返らない種はヤマホタルブクロです。

シモツケソウ ばら科
見頃：7月～8月
やや湿った草地に生え、茎の先端に小さな花が密集します。蕾は濃いピンクの球状、花が咲くと薄ピンクの筒をまとったように見えます。

サワギキョウ ききょう科
見頃：8月～9月
初秋の湿地や湿原に紫の花が咲く山野草。花びらはつながついて実は1枚。人の腰のあたりまで丈が伸びるものがあります。

オキナグサ きんぽうげ科
見頃：4月下旬～5月中旬
陽当たりのよい草地进行を好みます。種子に羽毛状の白い毛が生え、翁の頭のように見えることからの命名。みそ野平川河岸付近に多い。

ノハナショウブ あやめ科
見頃：6月～7月
湿地や草原を好み、直径10cmほどの濃い紫の花を咲かせます。外側の花びらはぼつりりと垂れ下がり、内側の小さな花びらが直立。

チダケサシ ゆきのした科
見頃：7月～8月
白から淡紅色の小さな花を円錐状につけます。山で採ったチダケ(乳茸)をこの茎に刺して持ち帰ったことからの命名といわれます。

タマガワホトギス ゆり科
見頃：8月～9月
黄色の花を咲かせるホトギスで、山地の湿った道端や林の中などを好みます。ヤマブキの名所、京都の玉川からの命名といわれます。

白馬村観光関連施設のご案内 市外局番 0261

■観光・宿泊案内

白馬村観光局	72-7100
道の駅観光案内所	75-3880
白馬さのさか観光協会	75-2811
白馬五電観光協会	75-3131
八方インフォメーションセンター	72-3066
白馬岩岳観光協会	72-2780
白馬みねかた観光協会	72-5594
北アルプス総合案内所	72-3000
白馬山麓ツアーズ	72-6900

■病院

北沢医院	72-2013
横沢医院	72-2008
栗田医院	72-2428
しんたにクリニック	75-4177
白馬診療所	75-4123

■交通機関

JR白馬駅	72-2014
川中島バス(株) 白馬営業所	72-3155
アルプス第一交通(株) 白馬営業所	72-2221
白馬観光タクシー 白馬駅前営業所	72-2144
白馬観光タクシー 八方営業所	72-2327
信州名鉄交通(株) 白馬営業所	72-2236

■その他

白馬村役場	72-5000
白馬村交番	72-2009
北アルプス広域北部消防署	72-0119
白馬郵便局	72-2320
神城郵便局	75-2800





自転車と徒歩で楽しむ 白馬小径 八方コース

森池野山岳フォトギャラリー
●和田野の森教会

和田野

エヴァークリーン

二レ池

山屋大橋

白馬八方尾根
スキー場

ゴンドラリフト「アダム」

ハ方尾根自然研究路

白馬ジャンプ
競技場

みぞら野

ハ方山麓

ハ方

ハ方尾根入口

ハピア

ハ方町

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

倉下の湯

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

至おびなたの湯 猿倉

和池野山岳フォトギャラリー

●和田野の森教会

和田野

エヴァークリーン

二レ池

山屋大橋

白馬八方尾根
スキー場

ゴンドラリフト「アダム」

ハ方尾根自然研究路

白馬ジャンプ
競技場

みぞら野

ハ方山麓

ハ方

ハ方尾根入口

ハピア

ハ方町

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

倉下の湯

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方

ハ方